

國造神社だより No.32

発行元：國造神社総代会広報 2015. 12. 6

本殿上覆の内側板壁を修繕しました



國造神社本殿上覆の修繕工事は12月2日、田中正真宮司による工事祈願祭を受けて着手され、5日完了しました。本殿上覆は流造柿葺き本殿（一間）を風雨から守るため設けられている切妻造平入瓦葺の建物（前口二間、奥行二間）で、明治40（1907）年8月に建築されて以来一世紀が経っています。約30年前に雨漏りが激しく一度修繕された形跡がありますが、工事は途中で終わってらしく、内壁もない状態で放置されていました。この数年は一枚板だけの外板壁の傷みが激しく、本殿内に雨や風が吹き込む状態になっており、今回は内側から羽目板を張って補強し、両側の隙間状態を解消したもので、本殿は真新しい杉材の内壁に囲まれ、見違えるように立派になりました。工事は泉3丁目の株式会社ウッドライフにお願いしました。

正月控え落ち葉拾い

國造神社境内の草取り落ち葉清掃奉仕作業は12月6日行われ、泉新町第一町会、泉新町第二町会の住民や氏子総代ら約40人が参加して、落ち葉で埋もれた境内を綺麗にしました。

